



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月30日

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション
 コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 井上憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 管理部マネージャー代行 (氏名) 岡田高志

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,491	3.0	62	27.7	71	20.0	34	63.4
30年3月期第3四半期	2,419	4.5	85	30.8	88	27.3	94	

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1百万円 (97.1%) 30年3月期第3四半期 39百万円 (93.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	8.41	
30年3月期第3四半期	22.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,346	5,479	86.3
30年3月期	6,525	5,643	86.5

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,479百万円 30年3月期 5,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		40.00	40.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,457	4.6	263	32.8	268	31.1	167	1.5	40.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	4,536,000 株	30年3月期	4,536,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	401,212 株	30年3月期	401,212 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	4,134,788 株	30年3月期3Q	4,164,888 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより、概ね緩やかな回復基調で推移いたしました。しかし、海外経済においては、米国を中心とした保護主義的な通商政策が及ぼす影響から、国内においては、猛暑や豪雨といった異常気象、また台風や地震等による災害で、一部消費や企業活動に影響が見られました。

学習塾業界におきましては、少子化の影響で市場の停滞が続くなか、顧客の学習塾選別の目がさらに厳しくなっております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、「体験と学習」の実践の場として農業体験等を積極的に進めることと並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底してまいりました。教育事業につきましては、前期に、学習塾を経営する有限会社アクシスの全株式を取得して連結子会社としています。スポーツ事業につきましては、前期より、新規サッカースクールの開設を積極的に推し進めております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高24億91百万円(前年同期比71百万円増)となりました。

利益面につきましては、営業利益62百万円(前年同期比23百万円減)、経常利益71百万円(前年同期比17百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益34百万円(前年同期比60百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールと有限会社アクシスを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は6,683名(前年同期比6.6%増)となりました。この結果、売上高は18億14百万円(前年同期比1億17百万円増)となり、セグメント利益は1億24百万円(前年同期比21百万円増)となりました。

(スポーツ事業)

当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は7,536名(前年同期比4.7%減)となり、売上高は4億24百万円(前年同期比19百万円減)、セグメント損失は8百万円(前年同期はセグメント利益28百万円)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億59百万円(前年同期比5百万円減)、セグメント損失は38百万円(前年同期はセグメント損失40百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は95百万円(前年同期比19百万円減)、セグメント損失は14百万円(前年同期はセグメント損失4百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は51億28百万円(前連結会計年度末比96百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が1億58百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は12億18百万円(前連結会計年度末比82百万円減)となりました。

これは主に、投資その他の資産が45百万円減少したことと、有形固定資産が20百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は7億32百万円(前連結会計年度末比9百万円減)となりました。

これは主に、1年内返済予定の長期借入金が74百万円減少したことと、短期借入金が60百万円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は1億35百万円(前連結会計年度末比4百万円減)となりました。

これは主に、固定負債のその他に含まれている預かり保証金が3百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は54億79百万円(前連結会計年度末比1億64百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億30百万円減少したことによるものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年10月26日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,004,692	4,845,948
受取手形及び売掛金	19,279	15,381
商品及び製品	116,907	128,518
原材料及び貯蔵品	15,756	13,546
その他	67,836	124,817
流動資産合計	5,224,472	5,128,212
固定資産		
有形固定資産	361,090	340,183
無形固定資産		
のれん	81,676	69,424
その他	33,674	29,874
無形固定資産合計	115,350	99,299
投資その他の資産	824,974	779,223
固定資産合計	1,301,415	1,218,706
資産合計	6,525,888	6,346,918
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,491	20,777
短期借入金	250,000	310,000
1年内返済予定の長期借入金	74,672	—
未払法人税等	65,915	8,129
賞与引当金	51,395	58,296
その他	264,442	334,966
流動負債合計	741,916	732,170
固定負債		
退職給付に係る負債	108,261	108,847
資産除去債務	18,729	16,832
その他	13,138	9,470
固定負債合計	140,129	135,150
負債合計	882,045	867,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	212,700	212,700
資本剰余金	29,700	29,700
利益剰余金	5,757,381	5,626,744
自己株式	△370,992	△370,992
株主資本合計	5,628,789	5,498,151
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,511	△36,891
為替換算調整勘定	19,565	18,337
その他の包括利益累計額合計	15,054	△18,554
純資産合計	5,643,843	5,479,597
負債純資産合計	6,525,888	6,346,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	2,419,329	2,491,065
売上原価	1,612,662	1,695,480
売上総利益	806,667	795,585
販売費及び一般管理費	720,758	733,493
営業利益	85,908	62,092
営業外収益		
受取利息	721	944
受取配当金	4,647	3,819
受取賃貸料	1,259	1,552
保険解約返戻金	—	9,854
その他	1,040	1,569
営業外収益合計	7,670	17,741
営業外費用		
支払利息	2,643	2,945
持分法による投資損失	—	696
投資有価証券評価損	1,876	4,066
その他	98	940
営業外費用合計	4,618	8,648
経常利益	88,960	71,185
特別利益		
事業分離における移転利益	—	5,660
投資有価証券売却益	77,341	4,221
特別利益合計	77,341	9,881
特別損失		
固定資産売却損	—	68
固定資産除却損	4,402	4,649
特別損失合計	4,402	4,717
税金等調整前四半期純利益	161,899	76,349
法人税等	66,979	41,595
四半期純利益	94,920	34,754
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,920	34,754

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	94,920	34,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,786	△32,379
為替換算調整勘定	510	△1,228
その他の包括利益合計	△55,275	△33,608
四半期包括利益	39,644	1,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,644	1,146
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,697,177	443,461	165,166	2,305,805	113,524	2,419,329	—	2,419,329
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	2,397	2,397	△2,397	—
計	1,697,177	443,461	165,166	2,305,805	115,922	2,421,727	△2,397	2,419,329
セグメント利益又 は損失(△)	103,160	28,432	△40,713	90,879	△4,971	85,908	—	85,908

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1 (千円)	合計 (千円)	調整額 (注)2 (千円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円)
	教育事業 (千円)	スポーツ事業 (千円)	飲食事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	1,814,814	424,170	159,275	2,398,259	92,806	2,491,065	—	2,491,065
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	3,159	3,159	△3,159	—
計	1,814,814	424,170	159,275	2,398,259	95,966	2,494,225	△3,159	2,491,065
セグメント利益又 は損失(△)	124,198	△8,422	△38,998	76,777	△14,685	62,092	—	62,092

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業・中古ゴルフクラブ販売事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。